

# 1 伏見区の姿

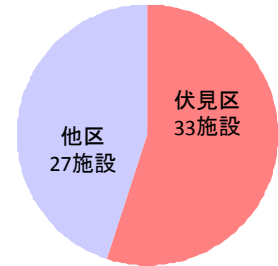
## 1-1 伏見区全域の現状特性と課題

### (1) 環境

#### ●環境先進区としての伏見

- ・クリーンセンターや水環境保全センターなど環境関連施設が多く立地し、京都市の市民生活や産業活動の基盤を支える極めて重要な役割を担っています。一方で、これら施設の近隣の生活環境の改善や施設との共生が課題となっています。
- ・京エコロジーセンターなど環境教育施設を中心に、環境啓発活動が活発に展開され、ごみ減量やリサイクル活動等が進展しています。また、地域ぐるみの美化活動として、大岩山周辺の美化活動や河川レンジャー等による取組がおこなわれるなど、区民の環境意識が高まっています。
- ・京都市では、環境モデル都市としてらくなん進都（高度集積地区）、横大路地域における低炭素型まちづくりをめざしていますが、伏見区内の公共交通が十分でない地域では自動車への依存度が高い傾向があります。

環境関連施設立地状況



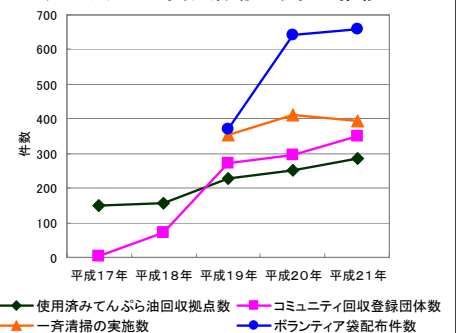
出典：京都市産業廃棄物処理業許可業者名簿ほか

### (2) 魅力・個性（自然・歴史等）

#### ●伏見独自の歴史・文化が育まれてきたまち

- ・人の営みとともに歴史の中で育まれてきた神社仏閣などをはじめとした歴史的資源が数多く点在しています。なかでも醍醐寺は世界文化遺産に登録されており、周辺の丘陵の緑と相まって豊かな佇まいを見せています。
- ・旧市街地では、古くは城下町や街道筋、門前町としてまちが発展してきたことから、町家など歴史的な町並みが多く残るなど、特徴的な佇まいを見せています。
- ・また、伏見の水が育んだ地場産業ともいべき酒造業が宇治川流派付近に集積しており、酒蔵の町並みとともに、「伏見の酒」のイメージがまちの個性ともなっています。

リサイクルや美化活動の取組の推移



出典：京都市環境政策局調

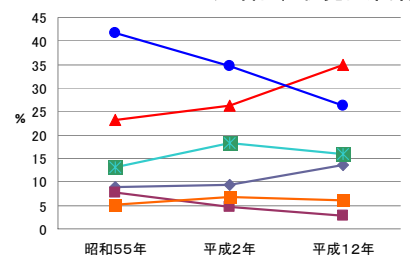
#### ●水（河川）と緑（丘陵）が広がる豊富な自然環境

- ・西部に桂川、鴨川、宇治川の三川が合流する地域があり、高瀬川や疏水など人工河川もまちなかを流れています。これら多くの河川と豊富な地下水などにより、澄んだ「水」が伏見のイメージともなっています。
- ・桃山丘陵や稻荷山周辺、醍醐寺周辺には緑豊かな丘陵が広がり、市街地に近接した緑地となっています。こうした水と緑の豊富な自然資源が身近にあるものの、まちなかの河川や道路、公園など、より身近に水と緑に親しめる環境づくりが求められています。

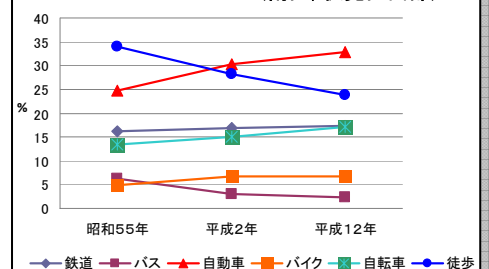
#### ●魅力ある資源の保存と活用

- ・地域には、まだ広く知られていない遺産や自然があり、これらの活用を図りつつ次世代に守り伝えていく必要があります。

交通手段別分担（依存）率  
(山科区, 伏見区東部)



交通手段別分担（依存）率  
(南区, 伏見区西部)



出典：京阪神都市圏パーソントリップ調査

### (3) 活力（伏見力）

#### ●多種・多彩な産業活動（伏見力）

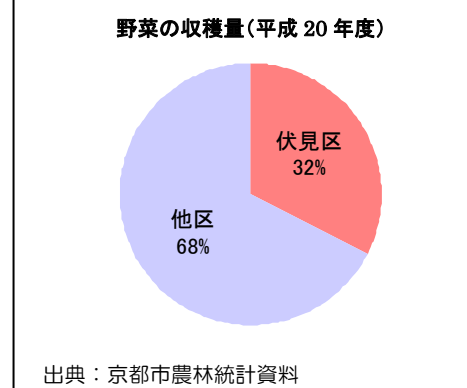
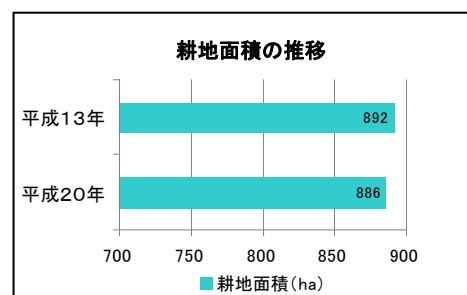
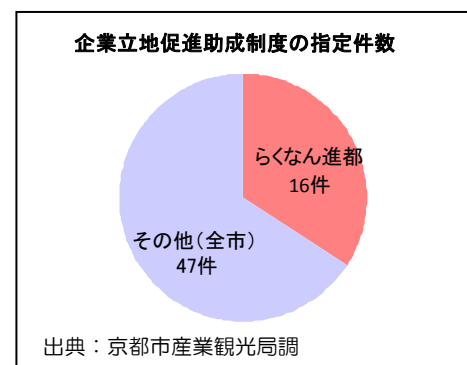
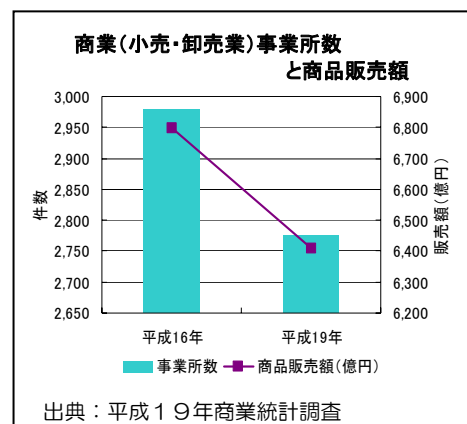
- ・大手筋や街道筋の商店街などでは、これまで生活に密着した商業地域として区民の暮らしを支えてきましたが、近年、郊外型の大規模商業施設等の立地や少子高齢化の進展による購買層の減少から、個人商店（地場商店）の減少による没個性化や活力の低下が懸念され、活気を取り戻す努力が重ねられています。
- ・らくなん進都（高度集積地区）では、「新しい京都を発信するものづくり拠点」として研究開発型企業の集積をめざしています。
- ・地域資源を活かし、地域と共存共栄する地域密着型の産業振興が模索されています。

#### ●都市近郊の農業

- ・桂川沿いや宇治川左岸の巨椋池干拓地には良好な田園が広がっていますが、近年住宅地開発や都市基盤施設の整備などにより、取り巻く環境が変化しており、都市の身近な農地として市街地環境との共生が課題となっています。
- ・また、こうした近郊の農地では、米、茶、伏見とうがらし、畑菜、淀大根、九条ねぎ、たけのこ等が生産されており、京野菜ブランドとして販売がおこなわれるなどの動きもあります。

#### ●観光客の受け入れ環境

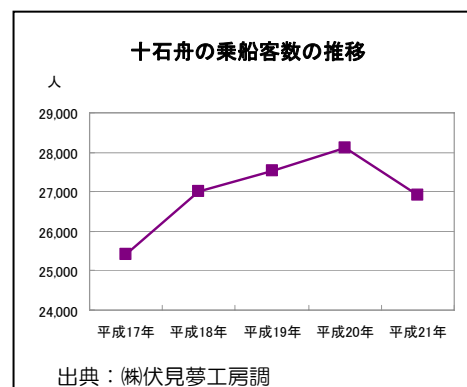
- ・伏見区には、世界文化遺産である醍醐寺や伏見稲荷大社、御香宮などの数多くの社寺や、酒蔵、町家など歴史的町並みが残り、それらを訪れる観光客が増加していますが、広範囲に分布する地理的条件や交通利便性の問題、来訪者に対する案内の不足、区内に宿泊施設が少ないことなどがあり、受け入れ環境の向上が課題となっています。
- ・観光資源のネットワーク化、情報発信力が不足しています。



### (4) 地域福祉・コミュニティ

#### ●地域活動と担い手

- ・新たな住宅地の形成やマンションの建設などにより、新住民が増加している地域を中心に自治会等の組織化が困難になっています。また、少子高齢化の進展による地域活動の担い手の減少などにより、地域活動の維持が困難になりつつあります。
- ・また、コミュニティカフェや地域サロンのような地域の老若男女が気軽に集まる場が求められており、伏見区総合庁舎に新たに設置された区民交流スペースの更なる活用など、地域コミュニティが活動する核となる「場」が必要です。
- ・一方で、地域での高齢者や子どもを見守る取組が進みつつあります。
- ・ニュータウンなどにおいては、独り暮らしの高齢者の孤立化などの問題や、中国帰国者等言葉の壁によるコミュニティ形成の困難さが課題となっています。



●地縁と志縁活動のつながり

- ・伏見区は、地域の自治会をはじめ、各種団体の活動が活発です。また、環境、福祉、まちづくりなど様々な分野で、NPOやボランティアの活動も盛んな地域で、5つある大学等も地域で活動を展開しています。
- ・こうした市民活動それぞれの活動は活発でも、相互の連携や交流の機会は比較的少なく、お互いがお互いの活動をあまり知らないという課題があります。

●子育て環境

- ・共働き家庭の増加や核家族化の進行により、子育て世代が孤立化しやすい現状があり、こうした世代に対する支援が必要になっています。

●隣接する区外地域への生活圏の広がり

- ・醍醐地域と山科区、向島地域と宇治市、久我・羽束師地域と長岡京市など、住民生活では区域を越えた広がりが見られます。

(5) 安心安全・利便性

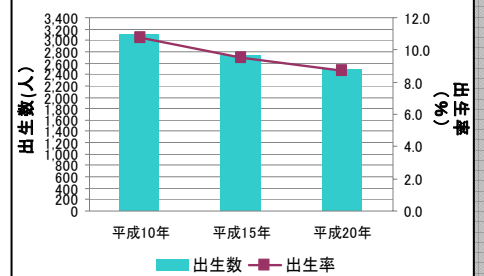
●交通の利便性

- ・桃山丘陵を囲む形での鉄道路線は充実していますが、それ以外の地域での公共交通はバスへの依存度が高くなっています。これらの地域でも運行本数やルートなどから利便性に格差があります。
- ・特に、東西方向や、西部地域の南北移動、市バス・地下鉄の接続については、利便性の向上が強く求められており、これらの問題等の解消が課題となっています。

●安心・安全な暮らし

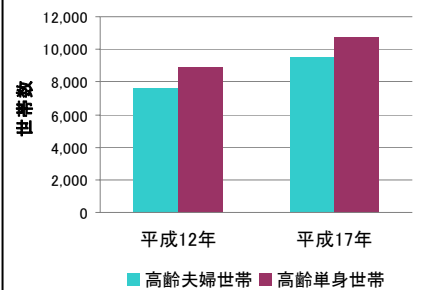
- ・駅周辺における駐輪場不足による放置自転車問題は、伏見区に限らず共通の問題となっています。これら放置自転車は、道路上の歩行者空間を狭くし、歩行者の安全を阻害する要因ともなっていることから、歩行者の安全な通行の確保が必要となっています。
- ・また、伏見区に特有の課題として、道路が狭くかつ交通量が多いという問題があり、生活道路への通過交通の流入の抑制や歩車分離が求められています。
- ・住宅などのミニ開発によるスプロール化が進行する地域においては、都市基盤整備など含め計画的なまちづくりが求められています。
- ・自然環境に配慮しつつ、河川の氾濫や大規模地震などへの対策を講じる必要があります。

出生数と出生率の推移  
(人口千人当たりの出生数)



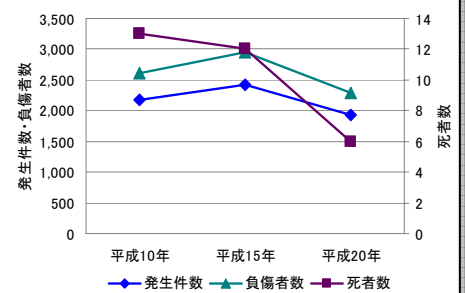
出典：京都市統計書

高齢者世帯数の推移



出典：地域統計要覧

交通事故件数等の推移



出典：京都市統計書

## 1-2 地域別の現状特性と課題

住民円卓会議での議論やアンケート等の意見などを踏まえ、地域毎の特徴やまちの課題を整理しました。

### (1) 旧伏見市・竹田・桃山地域

#### まちの自慢や特徴

- ・城（跡）や御陵，社寺や酒蔵，伝統的な町家など歴史遺産が多く集積する地域である。
- ・商店街がいくつもあり（大手筋，納屋町，竜馬通り商店街等），利便性の高い地域である。
- ・幹線道路に近く，鉄道も複数路線が通り，交通が比較的便利である。
- ・子ども見守り活動や学校行事等に地域が協力的である。
- ・集会施設等が充実し，住民の結びつきが強い地域である。

#### まちの気になること（まちの課題など）

- ・多くの観光資源があるが，観光地としての面的な広がりが弱く，うまく活用されていない。
- ・マンションの増加や，自治会加入率の低下から，活動等の担い手不足が生じ，自治会運営が困難になってきた。
- ・駐輪場やバリアフリー化など鉄道駅周辺の環境整備が行き届いていない。
- ・幹線道路の渋滞を避けて生活道路や通学路に通過交通が入り込んでいる。
- ・マンションの増加による新住民拡大の一方で従前からの居住者の高齢化が進行している。
- ・まちなかの緑が不足している。

### (2) 下鳥羽・横大路・淀地域

#### まちの自慢や特徴

- ・歴史的な資源を訪れる観光客は多いが，競馬場のイメージが大きい地域である。
- ・府道京都守口線の両側の農地等は，住宅地と工業用地との緩衝地として大切な存在
- ・市域を超えて（八幡市，久御山町等）様々な人との交流がある
- ・高速道路へのアクセスがよいので，いろいろな地域との行き来がしやすい。
- ・河川レンジャーなど環境美化の取組が盛んである。
- ・京阪淀駅の高架化と周辺整備が行われている。

#### まちの気になること（まちの課題など）

- ・工場等の進出が多いことから，周辺の環境維持が不安である。
- ・適切な土地利用の誘導が必要である。
- ・阪急やJR等の駅を利用したいが，バス等公共交通のアクセスが不便である。
- ・桂川，宇治川，木津川の三川が集まる地域であり，水害時に不安がある。
- ・子どもを安心して遊ばせることができる公園が少ない。

### (3) 久我・羽束師地域

#### まちの自慢や特徴

- ・久我神社など歴史的資源が多く，それらを見に来る来訪者も多い地域である。
- ・田畑や河川があり緑が豊富な地域である。
- ・医療施設やスーパーなど生活関連施設が比較的充実していることもあり，子育てに適しており，新住民が増えている地域である。
- ・見守り隊ができてからPTAと地域の関係が良好になり，交流の機会が増えた。
- ・体振の取組やスポーツチームの活動が盛んな地域である。
- ・久我菜など伝統野菜があり，食育活動も盛んに行われている。

#### まちの気になること（まちの課題など）

- ・地域で清掃活動がおこなわれているが，河川や農業用水路に不法投棄が絶えない。
- ・急速な住宅地開発による農地の蚕食で，まちの景観が損なわれている。
- ・バス路線や本数が少なく不便である。
- ・都市計画道路の整備促進や土地区画整理事業等による計画的な基盤整備が必要である。
- ・新住民の自治会加入率が低く，新旧住民の交流の機会が少ない。

## (4) 向島地域

### まちの自慢や特徴

- ・向島城など地域の地名に歴史的な名残がある。
- ・宇治川に面しているなど、身近に豊かな自然が多い地域である。
- ・農業が盛んで、新鮮な「食」を得ることができる。
- ・自治会の取組に対する理解が高まってきており、結束も強い地域である。
- ・高齢者や障害者を見守るために、安心安全ネットの取組を実施している。

### まちの気になること（まちの課題など）

- ・ニュータウンは年数を経て、建物が老朽化してきた。
- ・住民の高齢化が進み、若者が少なくなっている。
- ・ニュータウンでは中国帰国者が増えているが、言語の壁や生活習慣の違いから、従前からの住民との交流が円滑に進まない。
- ・敬老乗車証を使って宇治川を越えられない。
- ・道路が狭く、緊急車両が入れないところがある。

## (5) 深草地域

### まちの自慢や特徴

- ・稲荷山周辺の自然（竹林など）や疏水の水辺、多くの歴史的資源がまちを落ち着いた雰囲気にしてしている。
- ・鉄道が3線通り、駅が多くあり、利便性が高い地域である。
- ・医療センターや医療施設が多くあり、安心して暮らせる地域である。
- ・体振や見守り隊の活動など、学校を中心とした取組が盛んな地域である。
- ・3つの大学が立地し、大学と連携した取組がおこなわれている。

### まちの気になること（まちの課題など）

- ・まちなかを流れる高瀬川や七瀬川を美しくする必要がある。
- ・安全に避難できる避難地の確保や住民への周知が必要である。
- ・駅周辺の放置自転車等が後を絶たない。
- ・交通量が多く安心して商店街で買物ができない。
- ・高齢者をはじめ地域の人たちが気軽に集まれる場所が少ない。
- ・東西の交通がスムーズでない。

## (6) 醍醐地域

### まちの自慢や特徴

- ・身近に自然が多く、住みやすい地域である。
- ・著名な寺院が多く、観光スポットがいくつかある。
- ・醍醐コミュニティバスや地下鉄東西線があり、交通の便がよい地域である。
- ・学校の教職員と地域の人たちがスポーツを通じて交流している。
- ・10小学校区の地域の連携が強く、地域の活動などがひとつになって取り組まれている。

### まちの気になること（まちの課題など）

- ・山科川などを野鳥やホタルが棲めるような川にする必要がある。
- ・地域活動の担い手が不足している。
- ・通学路が長いところがあり、危険なところがある。
- ・公園が少なく子どもたちが安心して遊ぶ場所がない。
- ・団地などにおいて、高齢化が進行する中で、独り暮らしの高齢者等の孤立化が進んでいる。

## 2 めざすまちづくりの将来像

### □伏見区の将来像

「伏見ですむ」

一水と緑と温もりのまち

伏見で住みます・働きます・楽しみますー

#### ■めざす伏見の10年後

山の緑、川の緑、田の緑と青い空が澄みわたり、

ゆるやかな川の水、豊かな地下水が澄み、

豊かな自然の中で、多様な植物や動物が棲む。

水と緑の温もりに包まれ、多様な歴史と文化、生活圏をもつまちに、  
人々が元気に働き、交流し、住む。

暮らしの場と働く場がともにあり、暮らしに関わるあらゆるものが地  
域内で循環し、いろんなことが区内で済む。

これからもずっとやさしく生き物を包み込み、美しく、多様な人々の  
活動を見守る伏見のまちであることを願い、

「伏見ですむ」

## □伏見区のまちづくりの5つの取組目標

伏見区の将来像の実現に向けて、「伏見区全域」のまちづくりの取組目標と「地域別」の取組目標を設定しました。

### 伏見区全域のまちづくりの取組目標

「伏見ですむ」ことの思いを実現するまちづくりを進めます。

- (1) 「循環型社会の要を担い、環境共生・低炭素社会の魁をめざすまち」伏見ですむ
- (2) 「自然と歴史がいきづく魅力を発信するまち」伏見ですむ
- (3) 「伏見力を活かし、新しい京都を創造するまち」伏見ですむ
- (4) 「地域のコミュニティ力が人を育み、すこやかな暮らしを支えるまち」伏見ですむ
- (5) 「安心安全で、人にやさしい便利なまち」伏見ですむ

### 地域別のまちづくりの取組目標

地域の特性を活かした「伏見ですむ」ことの思いを実現するまちづくりを進めます。

旧伏見市・竹田・桃山地域	“みんなが見たい、聞きたい、話したい” 歴史が息づく元気なまち
下鳥羽・横大路・淀地域	私たちがつくる 美しい水と歴史が輝く みんなが集うまち
久我・羽東師地域	多世代が住む 緑豊かな 誰もが好きになれるまち
向島地域	“温もりとつながり”で支え合う 安心と福祉のまち
深草地域	自然と歴史がまちを包み、 まちが「ひと」を育む成熟のまち
醍醐地域	みんなが参加し、地域で支え合う 希望と期待が満ち溢れるまち

## 3 「伏見ですむ」実現に向けたまちづくりの取組方針

### 3-1 伏見区全域の取組方針

#### (1) 「循環型社会の要を担い、

#### 環境共生・低炭素社会の魁をめざすまち」伏見ですむ

環境への負担を減らす循環型社会の要を担うまちとして、「伏見ですむ」人や事業者、行政が連携するとともに、「伏見ですむ」一人ひとりの環境負荷の低減に向けた想いや、身近な生活環境や自然環境を大切にしたいという想いを紡ぎ、地域に根ざしたエコライフスタイルを実践します。

#### 各主体に期待される役割

- ・ **区民（住民）**は、自らのライフスタイルを環境の視点から見直し、できるところからエコライフスタイルに転換する努力をします。
- ・ **事業者等**は、自らの活動による環境負荷を減らすとともに、各々の立場から区民（住民）のエコライフスタイルへの転換を支援します。
- ・ **行政**は、区民（住民）の環境意識を高める啓発活動を行うとともに、エコライフスタイルに転換しやすい環境づくりを行います。

① 私たちは循環型社会の要を担うまちとして、「DO YOU KYOTO?」を合言葉に、環境への負担を減らすライフスタイルの実践をめざします。

#### ●エコライフスタイルを積極的に実践する地域づくり

区民、事業者、行政が連携しながら、省エネ、省資源、ごみ減量など環境負荷を低減するエコライフスタイルを実践します。

#### 具体的な取組例

- エコサポーター（京エコロジーセンターで養成される環境ボランティア）をリーダーとした地域単位、学校単位、企業単位のエコライフスタイル（省エネ、ごみ減量・分別、公共交通の利用など）の実践に向けた取組
- 再生可能エネルギーや省エネ製品の普及促進
- ECOまちステーション（区役所・支所に設置）を拠点とした地域でのごみ減量、リサイクル活動の推進（コミュニティ回収や資源ごみの拠点回収など）

#### ●環境関連施設を活かした最先端の環境技術開発と環境学習の推進

伏見区には、市民生活や産業活動の基盤を支える環境関連施設が集積しています。この集積や区民の高い環境意識を循環型社会の要を担う資源ととらえ、立地する地域との共生を図りつつ、最先端の環境技術研究や環境学習等の場としての活用をめざします。

#### 具体的な取組例

- 伏見ルネッサンスプランに基づく取組の推進
- 廃棄物を利用したエネルギーの生成・活用

- エコ産業の育成
- 環境関連施設を活用した環境学習の推進

② 私たちは公共交通機関を守ることを意識しつつ、「歩いて楽しいまち」づくりをめざします。

#### ●公共交通機関の利用推進

みんなが公共交通を利用することで地域の足を守りつつ、マイカーに依存したライフスタイルから公共交通と徒歩で移動するライフスタイルに転換することで、歩いて楽しいまちの実現をめざします。

##### 具体的な取組例

- 公共交通機関の利用促進に向けた利用のPR
- 公共交通機関と商業施設（商店街）、観光施設等がタイアップした取組の実施（レール&ショッピングなど）

#### ●交通結節の強化と交通不便地域等におけるコミュニティ交通の導入の推進

鉄道駅等のターミナル機能の強化とバス等公共交通機関とのネットワーク化を図り、区内外への交通アクセスを向上させることをめざします。また、公共交通の不便な地域において、地域の足を守り、確保していくための手段を検討します。

##### 具体的な取組例

- 京阪本線淀駅のターミナル機能の強化
- 京都駅とらくなん進都を直結する高規格バスの導入
- 公共交通機関相互の連絡強化
- 交通不便地域におけるコミュニティ交通の検討

③ 私たちは水（河川）、緑（里山）と共生するまちを次代に継承します。

#### ●多様な動植物が生息する河川や里山等の自然環境の保全

宇治川や桂川の河川敷においては、野鳥など多様な動植物が生息する自然環境が今も残されています。また、醍醐地域の丘陵や桃山丘陵、稻荷山周辺においても里山の生態系などの保全と再生が求められています。

こうした都市近郊の豊かな自然を「伏見ですむ」人、事業者、行政のパートナーシップで保全を図るとともに、環境学習の場として活用し、「伏見ですむ」環境と環境意識を次の世代に継承していきます。

##### 具体的な取組例

- 水辺や里山の生態系保全のための保全活動の推進
- まちに身近な自然環境や生態系を学ぶ環境学習の機会づくり（トレイル、ピオトープの整備など）
- ふかくさ自然環境再生ネットワークによる市民が気軽に散策を楽しむことができる美しい里山の再生
- 桃山丘陵、醍醐山等の緑の保全と自然に親しめる環境づくり

## (2) 「自然と歴史がいきづく魅力を発信するまち」伏見ですむ

「伏見ですむ」人に寄りそって育まれてきた水と緑、先人たちの営みによって育まれてきた伏見区特有の歴史資源を次代に継承するために、「伏見ですむ」人がその魅力を知り、発信し、豊かな地域資源を育み「伏見ですむ」ます。

### 各主体に期待される役割

- ・ **区民（住民）**は、自らが住む地域の歴史や自然、文化、産業などを学び、育むとともに、次世代に伝えていきます。
- ・ **事業者等**は、区民（住民）の学ぶ活動を支援し、共に地域の魅力を発信して、地域の活性化につなげます。
- ・ **行政**は、区民（住民）の取組を支援するとともに、資源の保全等に努め、一体として伏見の魅力をPRします。

① 私たちは地域の魅力を学び、育み、伝えます。

### ●歴史、自然資源、地域産業（酒造業等）を活用した伏見のPR

伏見区には悠久の歴史の中で育まれてきた神社仏閣などをはじめとした歴史的資源が数多く点在しており、なかでも醍醐寺は世界文化遺産に登録されています。また、伏見の水が育んだ地場産業である酒造業が宇治川派流付近に集積しています。

「伏見ですむ」人や事業者がこうした地域の資源を次の世代に継承していくために、その魅力を学び、区内外に広くPRし、伝えていきます。

#### 具体的な取組例

- 区民が地域の歴史や資源を学ぶ場や機会づくり（大学等と連携した「伏見学」講座、「伏見学」検定、学校教育での地域学習など）地域産業等
- 住民、企業、大学等教育機関の共同参画等による地域の自然・歴史資源・地域産業等をつなぐマップの作成やホームページ作成等の情報発信力強化

② 私たちは水と緑を活かしたまちづくり（「伏水」環境の保全、水辺環境などの活用）をめざします。

### ●アメニティを高める水辺環境づくり

かつて伏見は水運の拠点として栄えたまちで、今も河川や水路などの水辺環境は、市街地の景観に潤いを与えています。こうした水辺環境に対して、「伏見ですむ」人が親しみを感じ、訪れる人が快適に感じる水辺環境としていくための取組を「伏見ですむ」人、事業者、行政のパートナーシップにより進めます。

#### 具体的な取組例

- 水辺の散策路整備、ルート設定（東高瀬川、鴨川、疏水など）
- 桜や菜の花など花木類の植栽による名所づくり
- まちに身近な自然環境や生態系を学ぶ環境学習の機会づくり（トレイル、ピオトープの整備など）（再掲）

※アメニティ・・・心地よさ、快適さを感じさせるものや環境をいいます。

### ●まちなかの緑化など緑豊かな環境づくり

桃山丘陵や稲荷山周辺、醍醐寺周辺の丘陵の緑は、市街地に近接するように位置しています。こうしたまちに身近な自然を保全しつつ、隣接する丘陵地の自然環境と共生する緑豊かな市街地を形成していくために、「伏見ですむ」一人ひとりが、庭先や玄関口に花や緑を飾るなど、気軽に取り組める緑化活動を行い、緑豊かなまちとして「伏見ですむ」魅力を高めます。

#### 具体的な取組例

- 水と緑のネットワークづくり（「緑の核」としてらくなん進都及び伏見市街地の緑を整備）
- 緑化イベント・講習会の開催
- 緑化活動の推進（緑のボランティアリーダーの育成、緑化助成など）

## ③ 私たちは地域の歴史を活かしたまちづくりをめざします。

### ●地域の歴史を活かしたまちづくりの推進

伏見区が有する神社仏閣等の史跡、伝統的祭りなど有形無形の歴史的文化財を知り、次の世代に継承するとともに、観光や文化的活動の面から地域固有の資源として活用を図り、「伏見ですむ」まちの魅力を高めることをめざします。

#### 具体的な取組例

- 地域の歴史的資源の掘り起こしとその情報発信
- 地域の文化活動に関する団体間の連携や情報発信の強化
- 伏見桃山城や淀城跡の有効活用
- 地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関を利用した醍醐地域の観光振興を進めるためのマップづくり

### ●歴史的な佇まいを残す町並みの保全・再生

伏見区には城下町や港町、門前町、酒蔵のまちなみなど、「伏見ですむ」人の営みや生業とともに育まれてきた歴史的な佇まいを残す個性的な町並みが残されています。こうした地域の個性豊かな町並みを知り、保全に努め、その魅力に磨きをかけることにより、「伏見ですむ」人が誇りに思うまちづくりをめざします。

#### 具体的な取組例

- 魅力的な佇まいを残す町並みの紹介等情報発信
- 旧街道（本町通、千本通など）の歴史的な佇まいの保全・再生と活用の促進
- 歴史的建造物の保全

### (3) 「伏見力を活かし、新しい京都を創造するまち」伏見ですむ

伏見の水が育んできた酒造業などの地場産業や都市農業をさらに元気にしていくとともに、「伏見ですむ」人と産業各界の団体等が連携することにより、活気あるまちを創造する「伏見ですみ」ます。

#### 各主体に期待される役割

- ・ **区民（住民）** は、地域の生産物を積極的に購入し、身近な商店街等で買い物するなど、地域の産業を応援します。
- ・ **事業者等** は、地域との共存共栄を図るとともに、活力と個性のあるまちづくりに貢献します。
- ・ **行政** は、区民（住民）に対し、地域の産業や生産物をPRするとともに、地域と密着し、伏見力を活かした事業活動を支援します。また、区民（住民）や事業者等とともに、観光客の受け入れ環境を整えます。

① 私たちは地場産業、商店街、観光が連携した地域密着型の産業を応援します。

#### ●地域に密着した商業・商店街の振興

「伏見ですむ」人の買い物など、日常生活が地域内ですみ（済み）、働く所と住む所が近くにある、活気のある地域づくりの核として、気軽に立ち寄れる活気ある商店街づくりをめざします。また、地域で育まれてきた地場産業や観光と商店街の連携により、さらなるにぎわいと華やぎを感じさせるまちづくりをめざします。

##### 具体的な取組例

- 酒造業など地場産業や地元農家との連携による、地域の特徴ある商業活性化
- 商業（産業）と観光の連携によるにぎわいづくり
- 大学との連携やまちづくりの観点からの商店街振興

② 私たちは地産地消のまちづくりをめざします。

#### ●身近な都市型農業の振興

伏見区を京都市民の安心安全な食を支える地域としてPRします。そして、それらの農産物を地域で購入・消費できる仕組づくりや、都市の貴重な緑を形成し、食育の場ともなる農地の保全・活用をめざし、「伏見ですむ」魅力の向上を図ります。

##### 具体的な取組例

- 伏見産農産物の生産、消費の拡大（PR強化など）
- 朝市や直売所での地元産農産物の販売
- 久我・久我の杜・羽束師地域における都市的生活と農業の共生（地産地消、食育の推進、農業体験農園の開設など）
- 深草地域の竹林（たけのこ畑）の再生整備と竹の有効活用
- 巨椋池干拓地の農業（農産物）のPR

③ 私たちは地域とのつながりを大切にした産業振興をめざします。

●地域との共存共栄や雇用の創出を大切にした内発型の産業振興

らくなん進都（高度集積地区）へ誘致される研究開発型企业と区内ものづくり企業や地場産業（酒造業等）との交流を支援し、より高い先端性を創造するまちづくりを進めます。また、企業の立地・操業にあたっては、雇用の創出や住環境への配慮など「伏見ですむ」人との良好な関係の構築をめざします。

具体的な取組例

- らくなん進都におけるバイオ産業をはじめとした幅広い産業の誘致
- 住居系市街地と産業集積地が互いに安全に共存できるまちづくり（都市計画手法の活用や工場等の緑化など）
- 酒造業など地場産業の振興（世界市場を視野に入れた「Fushimi's Sake」のPRなど）

④ 私たちは伏見の豊富な観光資源のネットワーク化を進め、多様な魅力のある観光をめざします。

●観光（地域）資源のネットワーク化と総合的な活用による観光振興

「伏見ですむ」人にとって大切な自然環境や豊富な歴史的資源のPRに努めるとともに、地場産業や商店街、地域の農業なども含めた地域資源のネットワーク化とその一元的な情報発信により、歩いて楽しむ周遊型、滞在型の「伏見ですむ（済む）」観光をめざします。

具体的な取組例

- 観光情報の共有化と発信力の強化
- 地域の魅力資源、施設のPRの充実（周辺都市や観光エージェント、交通事業者等と連携したプロモーションの実施、ロケ撮影の誘致等）
- 観光コースにおけるきめ細かな案内誘導等の整備
- 伏見の自然や歴史資源を体感できる観光ウォーキングコースの紹介とウォーキングイベントの開催

●「学び」による伏見の魅力の再発見・発信

「伏見ですむ」人の「学び」を活かしたおもてなし力の向上を図ります。「伏見ですむ」人が、伏見の歴史や多様で魅力的な地域資源などを楽しく学び、「伏見ですむ」誇りとおもてなしの心を養うとともに、地域のことをよく知る「地域の語り部」や観光ボランティアガイドなどの人材を活かした質の高い体感型の観光を進めます。

具体的な取組例

- 大学と連携した「伏見学」講座の実施（再掲）
- 「地域の語り部」の発掘とネットワーク化
- 「地域の語り部」を活かしたガイドツアーの推進、親子を対象にした昔語り

●観光客の受け入れ環境の充実

伏見を訪れるすべての人が、安全・快適に観光できる環境を整えるとともに、歩いて楽しいまちになるよう、公共交通機関の利便性向上、パークアンドライドの拡大などを図ります。

#### **具体的な取組例**

- 駅等での観光案内の充実
  - 公共交通の利便性向上（観光客のための「共通乗車券」の発行等）
  - パークアンドライドの拡大と歩くまちコースやサイクリングコースの連携
- ※ パークアンドライド・・・自動車やバイクを郊外の公共交通機関に設けた駐車場に駐車し、そこから公共交通機関に乗り換えて目的地へ行く方法をいいます。

## (4) 「地域のコミュニティ力が人を育み、

### すこやかな暮らしを支えるまち」伏見ですむ

だれもが「伏見ですむ」続けたいと思う、そんな気持ちを大切にされた地域コミュニティが「伏見ですむ」人を育て、すこやかな暮らしのために互いに支えあうことができるまち「伏見ですむ」ます。

#### 各主体に期待される役割

- ・ **区民（住民）**は、地域の様々な人と関わりを持ち、相互理解を深め、互いに助け合える仕組づくりに取り組みます。
- ・ **事業者等**は、区民（住民）の地域活動を支援するとともに、地域サービスの担い手としての役割を果たします。
- ・ **行政**は、区民（住民）の（公益）活動相互の交流や連携によりお互いの活動がさらに活性化することをめざし、交流の場づくり、連携の機会づくりに努めます。

① 私たちは地域のつながり「絆」を深め、まちづくりの担い手を育てていきます。

#### ●地域コミュニティを支える交流の場づくりと新たな担い手育成

新たに形成された住宅地や新築マンションなどにおけるコミュニティ形成上の問題や地域活動に十分参加できない家庭の存在、地域活動の担い手の高齢化などを踏まえて、「伏見ですむ」人が積極的に参加できる交流の場づくりを進めるとともに、地域活動を先導する担い手を育成することをめざします。

##### 具体的な取組例

- 地域活動や自治会等団体が主催するイベント等に関する情報発信力の強化
- 全員参加型の自治活動の推進（サークル活動や各種教室など気軽に参加できる活動づくり、老若男女が集まるイベント等の開催等）
- 地域住民が気軽に利用できる交流の場づくり
- 地域活動のリーダーとなる担い手の育成
- 地域団体間の連携の強化

② 私たちは市民活動を促進する環境を整えていきます。

#### ●市民活動団体の連携促進と活動支援

「伏見ですむ」人の公的（公益）活動への参加意欲を実現につなげ、継続・発展させるための支援に仕組づくりを行います。

また、自治会や社会福祉協議会、自主防災会、体育振興会等の各種団体や、地域の大学やNPOなど様々な団体の交流・連携を促進するとともに、ニーズのある自治会などと知識やノウハウを持つ大学、NPOなどを橋渡しする環境づくりを行います。

##### 具体的な取組例

- 市民活動や地域活動の情報共有、交流、連携の場（地域情報プラットフォーム）づくり

○市民活動に関する出張講座の開催や区役所への臨時相談窓口の設置

- ※ 地域情報プラットフォーム・地域に存在する活動団体等の情報をネットワーク化し、各取組において必要とされる技術情報、資金、ノウハウなどのソフト面からの支援を総合的に提供する体制をいいます。

### ●大学と地域との連携促進

大学教育における地域での体験型学習のニーズが高まる中、大学の知や学生の力を地域の活性化や課題解決につなげる取組が進みつつあります。これらをさらに促進するため、大学の活動と地域のニーズをつなぐ情報ツールの活用や連携拠点の整備、コーディネーターの育成などを行います。

#### 具体的な取組例

- 市民活動や地域活動の情報共有、交流、連携の場（地域情報プラットフォーム）・機会づくり（再掲）
- 大学と区役所の包括的連携
- 体験型学習の地域側の受け入れ体制の充実（コーディネーターの育成など）

- ※ コーディネーター・様々なネットワークの要となり、参加と協働を企画、進行する役割を担う人をいいます。

## ③ 私たちは地域の福祉力、教育力を高めていきます。

### ●高齢者や障害のある人を地域で支える仕組づくり

高齢者や障害のある方が、住みなれた地域で安心して生活できるようにするため、近隣住民や自治会、団体や行政が連携し、「伏見ですむ」者同士が気軽にお互いを支えあうことができる環境づくりを進め、地域の福祉力を高めることをめざします。

#### 具体的な取組例

- 災害時や緊急時の避難支援を行うための情報整備・体制の充実（要援護者名簿の活用など）
- 高齢者が身近な地域で活動できる場づくりや、会話や食事を楽しめるサロンの開設
- 福祉・医療施設と地域における福祉の担い手（自治会、学区社協、民生児童委員、老人福祉員、地域包括支援センター等）のネットワークの形成
- 地域で高齢者を見守る仕組づくり

### ●地域ぐるみの健康増進の推進

「伏見ですむ」誰もが健康でいきいきと暮らせるようにするため、地域で住民が相互に支えあって健康づくりに取り組める環境をつくりまします。

#### 具体的な取組例

- 保健センターと地域の健康づくりサポーター等が連携して、地域単位で健康づくり教室を実施
- 食育指導員等と地域との連携による食を通じた健康づくり

### ●食文化の継承のための活動促進

地域で産出される農産品（京野菜）などの地場産品や旬の野菜を知り、活用に努めます。また、地域の特色ある食文化や季節毎の食習慣の継承を図るため、それらに関する技や知恵等の啓発・普及を進めます。

#### 具体的な取組例

- 食育体験（親子で料理を楽しむ・地域の食文化を学ぶ・食の安全を学ぶ等）講座の実施
- 旬のものを食する食生活の普及

#### ●子育て環境の充実，子どもを地域で育む仕組づくり

家庭と学校等教育機関，保育施設，地域が協力して，安心して子どもを生き育てられる環境を整えます。「伏見ですむ」子育ての仲間同士や地域の先輩（高齢者）との交流の場をつくるなど，専門的知識，経験と能力を活かしながら相互に支え合う関係を育てていきます。また，子どもを預けて働ける環境づくりや子育てに悩みを抱える家庭を支えるための子育て応援のネットワークづくりを行います。

#### 具体的な取組例

- 子育てグループと地域の子育ての先輩や学生，専門家たちとの交流の場づくり
- 区役所等への子育て支援コーナーの設置
- 地域の子育て支援拠点（つどいの広場等）の増設
- 放課後まなび教室等に地域の人が積極的にボランティアとして参加（土曜学習など）
- 子どもネットワーク連絡会議の強化
- 保育所や学童クラブの待機児童の解消

#### ④ 私たちは多文化共生・多世代交流を推進していきます。

#### ●多文化共生社会の実現に向けた交流の促進

伏見区は外国籍市民や外国からの帰国者の方が多く居住されていますが，言葉の壁や生活習慣の違いから，スムーズな地域コミュニティへの参加が難しくなっている現状があります。このような方々にも地域の担い手として参加していただくため，「伏見ですむ」一人ひとりが異文化に対する理解を深め，交流する場を設けるなどして，相互理解と孤立化を防ぐ生活支援を進めます。

#### 具体的な取組例

- 外国語表記のガイドの配布
- 外国籍市民や留学生等の言語能力を活かした人材活用
- 中国帰国者の地域活動への参画支援
- 多文化交流の場づくり，ネットワークづくり

※ 中国帰国者・・・日本へ永住（帰国），定住するようになった「中国残留日本人」やその家族および1958年までの集団引揚で一緒に日本に渡れずに中国に残された家族をいいます。

#### ●多世代交流のまちづくりの推進

「伏見ですむ」大人や子ども，高齢者や障害がある人など，様々な人々が他人を思いやり，暮らしやすい地域とするために，気軽に交流できるまちづくりを進めます。とりわけ，団地等においては，周辺地域も含めた世代間交流を図るとともに，地域の子どもが「伏見ですみ」続けられる環境づくりを進めます。

### 具体的な取組例

- 子ども見守り活動の継続と挨拶運動の実施
- 地藏盆など地域の催事を活用した世代を超えた交流が可能なイベントの開催
- 地域の伝統文化等を大人から子どもに伝え、子どもの地域への愛着を育てるためのイベントの開催（地域の伝統文化を子どもたちが披露するまつり等の開催）

## ●小学校等を核とした生涯学習や文化交流の推進

「伏見ですむ」人すべてが、こころ豊かな暮らしや生きがいのある暮らしができるように、地域のニーズに応じた学習の機会の充実を図ります。また、地域の小学校等の施設を活動の場として活用するなど、身近な場所での活動の場づくりを進めます。

### 具体的な取組例

- 小学校等の施設を活用したサロンや教室等の開催（学校ふれあいサロン事業など）
- 地域の文化サークル等の活動促進

## ●区民がスポーツやレクリエーションを楽しむ環境づくり

「伏見ですむ」人すべてが、健康でいきいきとした暮らしができるように、老若男女が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりを進めます。また、伏見区を拠点として活動するプロスポーツクラブ（ハンナリーズ等）との連携により、スポーツ教室の実施など、スポーツ振興の取組や人材育成等を進めます。

### 具体的な取組例

- 学校の体育施設の開放など既存施設の利用促進
- 地域における市民スポーツの振興

## (5) 「安心安全で、人にやさしい便利なまち」伏見ですむ

「伏見ですむ」人の営みと暮らしを支える交通や道路が整い、安全で快適に住み続けられる人にやさしい便利なまち「伏見ですみ」ます。

### 各主体に期待される役割

- ・ **区民（住民）**は、子どもや高齢者の見守りや防犯防災の取組など自らの地域を自らで守る取組を実践します。
- ・ **事業者等は**、区民（住民）とともに地域の安心安全に取り組むとともに、安心安全に配慮した事業活動を行います。
- ・ **行政は**、区民（住民）や事業者等の取組を支援するとともに、安全に関する意識の啓発や、安心安全な生活を保障する都市基盤の整備を行います。

① 私たちは安心安全に暮らせる環境づくりを進めていきます。

### ●地域ぐるみの交通安全、防犯対策の推進

「伏見ですむ」誰もが安心して歩けるまちづくりを進めるとともに、交通安全に係わる意識やマナーの向上を図ります。また、防犯に対する意識の向上を図りつつ、「伏見ですむ」人、事業者、公的機関等が一体となって治安を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

#### 具体的な取組例

- 交通安全教室の実施などによる交通安全に係わる意識啓発
- 駐車・駐輪のマナー向上のための意識啓発
- 地域の安心安全ネットワークの充実

### ●防災対策の推進

災害に対して「伏見ですむ」人々がお互いに助け合うことを基本とした体制づくりを進めるとともに、治水機能の強化や建築物の耐震化による防災機能の強化を図ります。また、災害時の備えとして、避難生活や復旧作業を円滑に進めるため、平時における準備を進めるほか、災害時における「伏見ですむ」人、事業者、公的機関等との連携による協力体制づくりを進めます。

#### 具体的な取組例

- 地域ごとの防災マップの作成・周知
- 防災訓練等への参加促進や救命などに係わる講習会の開催
- 土石流や急傾斜地域の調査の推進
- 災害時の避難経路、避難場所の周知
- 河川や水路の防災対策の推進

### ●人にやさしいみち・施設の整備

歩行者が安全で快適に歩ける道とするために、生活道路に流入する通過交通の抑制を図るための幹線道路の整備や交通規制や歩車分離などとともに、歩行者の安全な通行

を妨げる放置自転車の一掃に向けた取組を推進します。公共施設や公共交通施設についても安全性を高めるための施設環境の向上をめざします。

#### 具体的な取組例

- 啓発や撤去による自転車利用マナーの向上
- 駅周辺等における駐輪場の設置・改善
- 駅等を拠点とした自転車の共同利用の推進
- 駅等におけるユニバーサルデザインに基づく整備
- 歩車分離等による道路の歩行者空間の確保
- 花木の植樹や花壇の設置等による美しく快適なみちづくり
- 都市計画道路などの幹線道路の整備推進

### ●安心安全に暮らせる住環境の整備

住宅等のミニ開発によるスプロール化が進行する地域やその周辺地域等について、安心・安全な暮らしを確保するため、道路などの都市基盤整備や、計画的な土地利用の誘導を図ります。

#### 具体的な取組例

- 土地区画整理事業の推進等による計画的な土地利用の誘導と道路などの公共施設の整備の推進
- 建築協定、地区計画制度の活用による計画的なまちづくりの推進
- 大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進

※ スプロール化・・・計画的な街路が形成されず、虫食い状態に宅地化が進む様子をいいます。

## ② 私たちは人と環境への負荷を減らす交通システムや移動方法の構築をめざします。

### ●東西方向の交通インフラの整備

区内および隣接市町との連携の強化を図ることにより、移動の円滑化や利便性の向上を図ります。また、都市計画道路等の早期整備に加え、公共交通機関の連絡強化をめざします。

#### 具体的な取組例

- 都市計画道路などの幹線道路の整備推進（再掲）
- バス等の公共交通機関の路線拡充と連絡強化の推進

### ●交通結節の強化と交通不便地域等におけるコミュニティ交通の導入の推進（再掲）

鉄道駅等のターミナル機能の強化を図り、バス等公共交通機関とのネットワーク化を図り、区内外への交通アクセスを向上させることをめざします。また、公共交通の不便な地域において、地域の足を守り、確保していくための手段を検討します。

#### 具体的な取組例

- 京阪本線淀駅のターミナル機能の強化
- 京都駅とらくなん進都を直結する高規格バスの導入
- 公共交通機関相互の連絡強化
- 交通不便地域におけるコミュニティ交通の検討

## 3-2 地域別の取組方針

### (1) 旧伏見市・竹田・桃山地域

まちづくりの取組目標<合言葉>

“みんなが見たい、聞きたい、話したい” 歴史が息づく元気なまち

豊かな緑に抱かれた豊太閤の城下町。京の都を北に望み、清冽で豊かな湧水と水運を背景に、政治・軍事・経済の中心として繁栄を極めた地。酒蔵と古い街並みをとどめる地域をいっそう活性化させるために、商店街等をはじめとする「伏見の町衆」の力を結集していきます。

#### 【取組方針】

##### ●住民力の結集と誰もが参画できる機会づくりによる活気あるまちづくり

- ・住民同士が交流できる場所づくり、体制づくり  
(学校と地域が連携した組織づくり、)
- ・若い世代が参加しやすい機会づくり  
(若い世代が担い手として参加しやすい機会づくり)
- ・歴史まちづくりを進める実行委員会づくり  
(協議・企画の場、行動のための推進母体づくり)

##### ●暮らしの中に息づく身近な自然や歴史・文化など、地域の魅力資源を活かしたまちづくり

- ・歴史資源・地域の魅力資源の観光ネットワーク  
(地域の魅力資源・観光スポットなどのマップ、魅力資源や施設等の案内、観光コースづくり等)
- ・魅力的な水辺の環境づくり  
(濠川、宇治川派流沿いの魅力向上、東高瀬川の小径整備、歩行環境の向上)
- ・地域の歴史や観光資源を学び、伝える  
(観光ボランティアガイドの育成など)

##### ●多様な世代や観光客に地域情報等をアピールし交流するまちづくり

- ・地域住民や事業者など、異世代・異業種間の交流ができる場づくり  
(住民、事業者、大学生等も交えた情報交換・交流の場、地域プラットフォーム)
- ・若い世代(観光客)への情報発信  
(地域の魅力紹介ツールづくり等・企画、情報発信)

#### (再掲) 同地域に関連する主な「具体的な取組例」

- ・桃山丘陵の緑の保全と自然に親しめる環境づくり [P.9の再掲](#)
- ・水辺の散策路整備、ルート設定(東高瀬川など) [P.10の再掲](#)
- ・伏見桃山城の有効活用 [P.11の再掲](#)

#### ちょっと注目!

円卓会議でこんなことも考えました!!

- ・温泉発掘プロジェクト
- ・伏見の名物づくり

## (2) 下鳥羽・横大路・淀地域

まちづくりの取組目標<合言葉>

私たちがつくる 美しい水と歴史が輝く みんなが集うまち

古から京都と大阪を結ぶ交通の要衝であったこの地域は、今も広域交通網の要衝であり、また、循環型社会構築の要を担う地域、南部創造のまちづくりの牽引役として、重要な役割を果たし続けています。横大路地域を中心とする伏見ルネッサンスプランの取組や淀城跡を中心とするまちづくりの取組など、急速に高まりつつある地域住民と事業者、行政の協働の機運をさらに推し進め、確かな未来を築いていきます。

### 【取組方針】

#### ●地域と人のつながり（ふれあい・見守り）を大切にしたい安心・安全なまちづくり

- ・地域の人たちが元気になるふれあい活動（イベント等）  
（西部ふれあいプラザをさらに魅力的に、みんなが集まれる活動拠点（淀競馬場等の活用）づくり）
- ・ご近所づきあいや高齢者や子どもの見守り
- ・地域の安心・安全マップづくり  
（地域住民の危機管理意識の向上等、防災・水防等マップづくり）

#### ●地域の歴史資源や地域産材の豊かさをアピールし、次世代につなげるまちづくり

- ・地域の歴史を知り、学び、地域の魅力や愛着を育てる  
（地域の歴史資源や旧街道筋を活かした回遊ルート設定、魅力資源マップづくり）
- ・地域の農産物（地場野菜）の活用  
（近隣農地で栽培された地場野菜（淀大根、九条ねぎ）や加工品等の販売、朝市等の開催）
- ・地域のまちづくり機運を盛り上げるイベントの開催と発展  
（横大路地域のまちづくりイベント「桂川草津みなと鯉海道祭り」など）

#### ●人に身近な水辺環境の豊かさを活かした憩いの場づくり

- ・堤防や河川敷、人に身近な水辺の美化、清掃活動
- ・水辺に植樹や花のある美しい憩いの場づくり

#### （再掲）同地域に関連する主な「具体的な取組例」

- ・伏見ルネッサンスプランに基づく取組の推進 [P.8の再掲](#)
- ・淀城跡の有効活用 [P.11の再掲](#)
- ・旧街道（千本通など）の歴史的な佇まいの保全・再生と活用の促進 [P.11の再掲](#)
- ・土地区画整理事業の推進等による計画的な土地利用の誘導 [P.20の再掲](#)
- ・京阪本線淀駅のターミナル機能の強化 [P.20の再掲](#)
- ・交通不便地域におけるコミュニティ交通の検討 [P.20の再掲](#)

### (3) 久我・羽束師地域

まちづくりの取組目標〈合言葉〉

多世代が住む 緑豊かな誰もが好きになれるまち

かつて緑豊かな田園地帯だったこの地域も、近年の急激な宅地化によって大きく変貌しつつあります。地域住民と行政の協働で組織された「久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会」の取組を中心に、誰もが何世代にもわたって住み続けたいまちづくりをめざします。

#### 【取組方針】

##### ●人とひとのつながり（交流・見守り）を大切にしまちづくり

- ・住民同士が交流し憩える場づくり  
（交流できる場所と機会づくり）
- ・地域全体で子どもたちの見守り  
（見守り隊活動等の継続，若い世代の参加促進）
- ・地域と学校の連携を密にしたまちづくり  
（学校運営協議会等の取組の進展）

##### ●住民の力が発揮され、安心・安全で住み続けられるまちづくり

- ・まちづくりビジョンの実践  
（まちづくりビジョンに位置づけられた取組等の実践）
- ・安心・安全な暮らしができるまちづくりの促進  
（地区計画，景観まちづくりのための協定づくりなど）
- ・住民の力が発揮できる，力を出し合える場や仕組づくり  
（久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会の活動等の取組促進）

##### ●まちの身近な自然や田園，歴史・文化を大切にし，次世代につなげるまちづくり

- ・地域の自然，農業を活かした体験型学習の取組  
（地域の農家との連携による農作業体験，環境美化活動～身近な自然学習）
- ・美しい水辺環境や田園風景を守るための美化活動等の取組  
（河川や水路，農地周辺の美化・清掃活動）

#### （再掲）同地域に関連する主な「具体的な取組例」

- ・都市的生活と農業の共生（地産地消，食育の推進，農業体験農園の開設など） [P.12の再掲](#)
- ・都市計画道路などの幹線道路の整備推進 [P.20の再掲](#)
- ・土地区画整理事業の推進等による計画的な土地利用の誘導と道路などの公共施設の整備推進 [P.20の再掲](#)
- ・交通不便地域におけるコミュニティ交通の検討 [P.20の再掲](#)

#### ちょっと注目！

円卓会議でこんなことも考えました！！

- ・先端産業が集積する「久我バレー」の実現
- ・学問のまち

## (4) 向島地域

まちづくりの取組目標<合言葉>

“温もりとつながり”で支え合う 安心と福祉のまち

巨椋池の干拓とともに拓かれてきたかつての新興地域も成熟の時を迎えています。地域住民主催のふれあいイベントの取り組みをはじめ、人々の「温もりとつながり」をキーワードに、新たな時代を築いていきます。

### 【取組方針】

#### ●高齢者や障害者が元気に安心して暮らせるまちづくり

- ・障害者や高齢者などに関われる、情報共有ができる場づくり  
(コミュニケーションの場所・交流できる場所と機会づくり)
- ・高齢者(独居者)や要介護者への声かけ、見守り等取組  
(居住者等の情報共有や担い手づくり等体制づくり)
- ・身近な相談ができる場づくりや情報共有ができる体制づくり  
(相談できる担い手など)

#### ●豊かな暮らしを支える活発な多世代の交流があるまちづくり

- ・多世代(親子, 親同士, 子供同士)が交流できる場づくり  
(関連イベント等の連携)
- ・高齢者が元気になれる活動の場づくりや健康づくりの場づくり  
(趣味, 文芸講座等の開催, イベント等への参加による活躍の場づくり)

#### ●まちの身近な自然や地域の歴史資源を大切にし, 地域産材等を活かしたまちづくり

- ・地域の農産物(地場野菜)の販売等, 定期「市」の開催  
(巨椋池や近隣農地で栽培された地場野菜や加工品等の朝市)
- ・自然等を身近に感じさせる魅力的な公園づくり  
(近所の公園の維持管理, 季節感の感じられる公園づくり)
- ・向島の古い町並み等歴史的な価値のアピール

#### (再掲) 同地域に関連する主な「具体的な取組例」

- ・巨椋池干拓地の農業(農産物)のPR [P.12の再掲](#)
- ・中国帰国者の地域活動への参画支援 [P.17の再掲](#)

## (5) 深草地域

まちづくりの取組目標<合言葉>

自然と歴史がまちを包み、まちが「ひと」を育む成熟のまち

平安の時代に端を発する悠久の歴史を有する深草地域。東部には、稲荷山など竹林を中心とする緑豊かな丘陵が広がり、中央部には疏水が南北を貫き、その周辺部には、十六師団が駐留した古くからのまちなどが形成され、そこには大学、高校などの教育機関や医療施設が立地しています。

地域住民や各種団体、教育機関等と一体となって、自然を守り活かす取組をさらに推し進めるとともに、賑わいのあるまちづくりを着実に進めていきます。

### 【取組方針】

#### ●「地域」と「ひと」のつながり（交流・見守り）が実感できる安心安全なまちづくり

- ・安全安心のまちづくり  
（災害・防災・交通問題：高齢者の実態把握，空家問題，通学路・散策路・駅までの道路に係わる公共交通問題等）
- ・地域活動の横のつながりをつくる交流の場づくり  
（地縁組織や関係団体等による気軽に交流できる場づくり）
- ・3大学の集積の活用  
（地域との交流促進，学生の地域活動への参加など）

#### ●本町通界隈のにぎわいが見えるまちづくり

- ・まちと商店街との共生によるにぎわいづくり  
（少子高齢化に対応した住みやすいまちづくりなど）
- ・疏水沿いの水辺環境づくり  
（疏水の桜などを活用したにぎわいづくりなど）
- ・歩きやすい本町通の環境づくり  
（道路利用マナーの徹底など）

#### ●まちに身近な自然（里山）や歴史など，環境の豊かさを享受できるまちづくり

- ・深草トレイルの充実（稲荷山～大岩山～桃山）
- ・みんなで里山づくり（竹林再生，不法投棄対策など）
- ・深草産地場産品の普及（深草産野菜や竹製品のPRなど）
- ・大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進（まちづくり方針の具体化）

#### （再掲）同地域に関連する主な「具体的な取組例」

- ・ふかくさ自然環境再生ネットワークによる市民が気軽に散策を楽しむことができる美しい里山の再生 [P.9の再掲](#)
- ・旧街道（本町通など）の歴史的な佇まいの保全・再生と活用の促進 [P.11の再掲](#)
- ・大学との連携やまちづくりの観点からの商店街振興 [P.12の再掲](#)
- ・深草地域の竹林（たけのこ畑）の再生整備と竹の有効活用 [P.12の再掲](#)

## (6) 醍醐地域

まちづくりの取組目標〈合言葉〉

みんなが参加し、地域で支え合う 希望と期待が満ち溢れるまち

東西に広がる緑豊かな山並み。まちの中央を流れる山科川。古くから京都・奈良・近江をつなぐ道が拓かれ、世界文化遺産の醍醐寺をはじめ古刹・名刹が点在するこの地域は、今は多くの公営公団住宅やマンションが立地するようになりました。

地域の足となる住民が主体となったコミュニティバスの運行、安心安全なまちづくりのたゆまぬ取組など、地域が持つコミュニティの力をより一層高め、自然や文化を大切にしながら、活気溢れるまちづくりを進めます。

### 【取組方針】

#### ●安心安全な暮らしを地域と人が支え合う 地域コミュニティを大切にしまちづくり

- ・高齢者や若者等あらゆる世代が交流し憩える場づくり  
(気軽に交流し、支え合える場所づくり)
- ・地域とPTAとの連携による次世代のまちづくりの担い手づくり  
(楽しみながら参加できる活動の場づくり、次の世代への後継者育成)
- ・地域で支える子どもたちの見守り  
(見守り隊の増員や活動の継続)

#### ●コミュニティバスを活かして地域の活性化につなげるまちづくり

- ・他地域や地域内の観光施設や資源をコミュニティバスで結ぶ観光ネットワーク化  
(醍醐～他地域とのネットワーク、路線ルートの拡充等)
- ・醍醐の歴史的資源を結ぶ散策路等ルートの設定  
(醍醐の魅力的な歴史的資源のネットワーク化)
- ・地域の魅力的な資源やバスルート等のマップ作成  
(地域の魅力的な資源の紹介、コミュニティバスの利用促進)

#### ●身近な水辺環境を大切にしまちづくり

- ・美しい水辺環境を守るための美化活動等の取組  
(山科川の水辺環境美化活動)
- ・河川をきれいにして生物が棲める環境再生  
(水をきれいにしてホタルの棲める川にする、野鳥が棲む環境づくりなど)

#### (再掲) 同地域に関連した「具体的な取組例」

- ・醍醐山等の緑の保全と自然に親しめる環境づくり [P.9の再掲](#)
- ・地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関を利用した醍醐地域の観光振興を進めるためのマップづくり [P.11の再掲](#)

## 4 重点戦略「融合プロジェクト」

「伏見ですむ」人・事業者と行政が主体となって取り組む

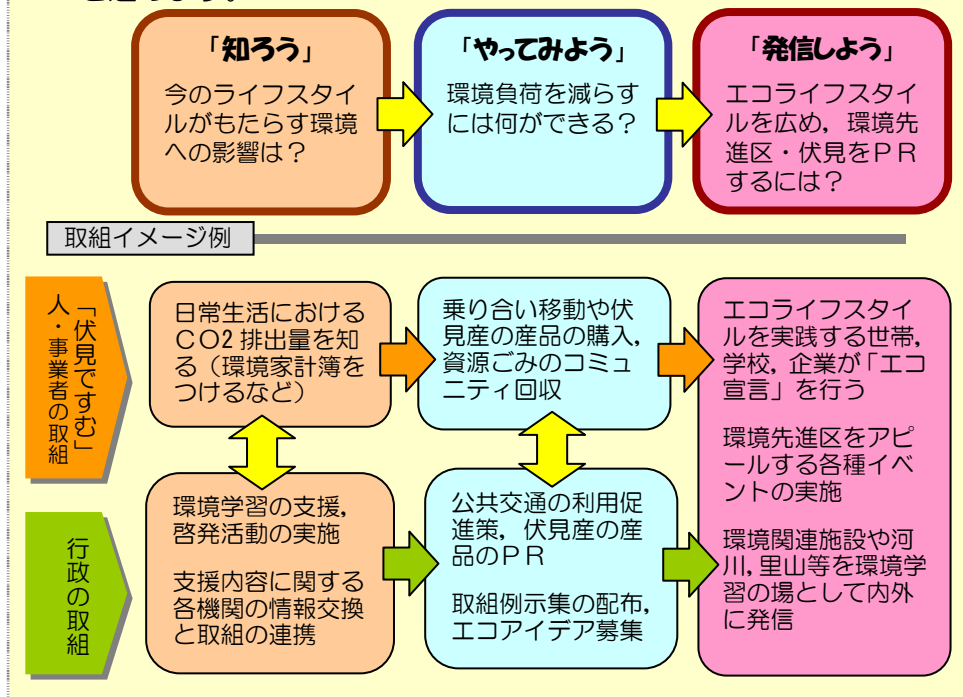
### 重点戦略「融合プロジェクト」

伏見区全体に共通する取組と地域の特性に由来する多岐にわたる取組の実現のため、今後10年間のまちづくりの基軸となり、かつ、分野別の取組をリードする、幅広い効果が期待できる取組を「融合プロジェクト」と名づけ、ボランティア等によるプロジェクトチームを設置して重点的に進めます。

#### 融合プロジェクト 1

#### ● エコライフスタイル「伏見ですむ」プロジェクト

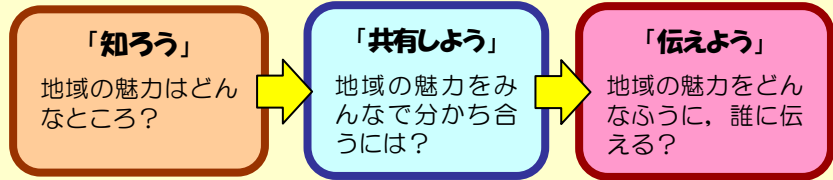
○循環型社会の要を担い、豊かな自然環境に恵まれた伏見区ならではの「伏見で“済む”」エコライフスタイルを提唱し、「伏見で“住む”」一人ひとりが日々の暮らしや生業の中で実践していくための取組を進めます。



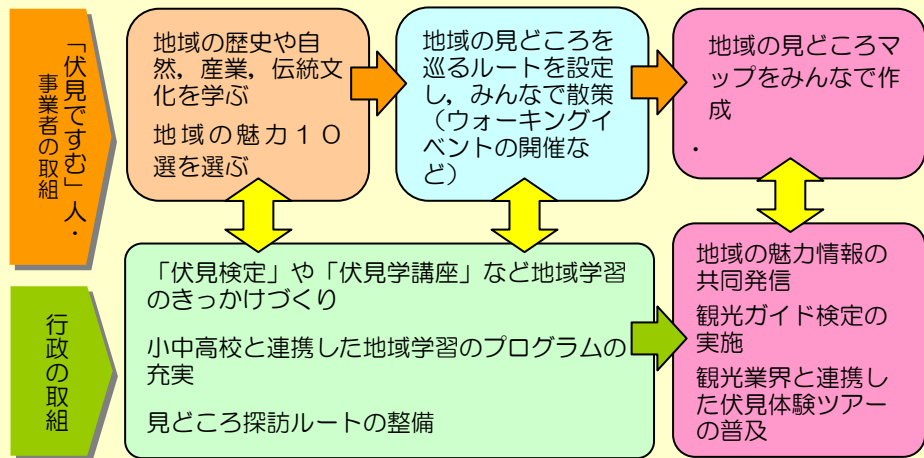
融合  
プロジェクト  
2

● 「伏魅力」再発見・発信プロジェクト

○「伏見ですむ」人が地域の魅力や資源を再発見し、それらに磨きをかけることを通して、“おもてなし”の心と「伏見にすむ」誇りを醸成するとともに、伏見の魅力「伏魅力」を内外に発信していきます。



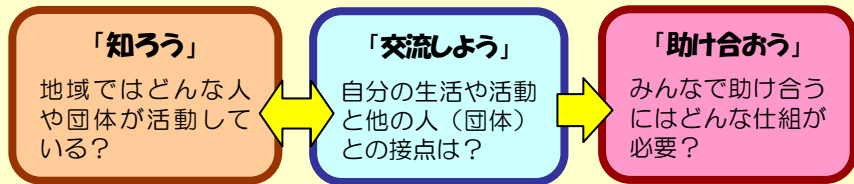
取組イメージ例



融合  
プロジェクト  
3

● 絆づくり・「伏見力」増進プロジェクト

○地域で活動する人や団体、事業者等の情報共有・交流（マッチング）や活動のサポートを行うプラットフォーム（地域情報共有の場）をつくります。



取組イメージ例

